

## 令和2年度 大野北地区まちづくりを考える懇談会結果報告

- 1 日 時 令和2年10月30日(金)午後7時から午後8時47分まで
- 2 場 所 大野北公民館大会議室
- 3 市側出席者 本村市長、森副市長、藤田中央区長、石井市長公室理事、宮崎環境共生部長、  
椎橋まちづくり計画部長、大貫生涯学習部長  
岩本市民局次長
- 4 出席委員等 22人
- 5 傍聴者 10人
- 6 懇談会の要旨

テ ー マ	公共施設の再整備と既存施設の老朽化対策について
概要	<p>淵野辺駅南口周辺の公共施設の再整備は、大野北地区の長年の課題となっており、平成30年度に策定した「大野北地区まちづくり会議報告書」において、「図書館や公民館等の公共施設を集約・複合化し、再整備することで、大野北地区から市内外へ文化を発信する交流拠点を創る」ことを重点分野の対応方策として取り上げたところである。</p> <p>一方で、新たな検討組織として昨年3月に「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」が設置され、構成員によるグループワークやオープンハウスなど様々な取り組みが行われていることを承知しているが、未だに基本計画などの具体的な方策が示されず、地域住民にとっては、不安と同時に不便さが強いられている。また、歳月の経過とともに既存施設の老朽化が進行している状況である。</p> <p>昨年度の懇談会では、まちづくり会議の構成団体としての視点から、テーマに関連した様々な課題や要望をお伝えしたが、時間的な制約もあり、市側からは踏み込んだ回答をいただけなかったと認識している。</p> <p>そこで、昨年度の懇談会での委員の発言要旨を整理した項目に対する市の考えを伺い、さらに議論を深めていくことで、淵野辺駅南口周辺の公共施設の再整備と既存施設の老朽化対策が確実に前進する懇談としたい。</p>
地区の取組状況等	<p>昨年度の懇談会では、多くの委員から発言があった。しかし、時間的な制約もあり、市側から十分な回答をいただけなかったことを踏まえ、今年度のまちづくり会議において、昨年度の各委員の発言内容を整理し、次の3つの項目に取りまとめた。</p> <p>1つ目は「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備に関する基本的な考え方」</p> <p>市民検討会において様々な取組が進められていることは承知しているが、まちづくり会議としては、公共施設再整備の基本計画が示されない現状に強い危機感を持っている。また、新市長となってシビックプライド(市民の市に対する誇りや愛着等)の考え方が出てきた。</p> <p>これらを踏まえた、淵野辺駅南口周辺の公共施設の再整備に関する市長の基本的な考え方を伺いたい。</p> <p>2つ目は「図書館・公民館の望ましい姿とは」</p> <p>市内外へ文化を発信する交流発信拠点として、図書館・公民館は有効な施設だ</p>

	<p>と考えると、再整備した場合における図書館と公民館の望ましい姿とはどのようなものと認識しているのかを伺いたい。</p> <p>3つ目は「鹿沼公園再整備の考え方」</p> <p>平成29年度にパブリックコメントが実施された時の基本計画（案）では鹿沼公園内に公共施設を再整備する案が示された。また、近隣の相模総合補給廠共同使用区域内に芝生広場や軟式野球場などが順次整備されることが先日公表された。</p> <p>公園施設の経年劣化が著しいことも含め、鹿沼公園の再整備についてどのように考えているのか見解を伺いたい。</p>
<p>市の取組 状況等</p>	<p>まず、1つ目の「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備に関する基本的な考え方」だが、市民検討会を昨年3月に立ち上げ、まち歩きやオープンハウス、グループワークなど、これまで9回開催し、淵野辺駅周辺に点在する図書館や公民館等の老朽化した公共施設を集約、複合化し、再整備する方向性を共有した。施設を公園内に集約、あるいは、現行の図書館の敷地に集約するなど大きく4つの検討パターンに分類・整理することができており、それぞれのパターンにおける課題や実現の方法を検討している。</p> <p>本年2月末に予定していた第10回の市民検討会については、新型コロナウイルス感染症により延期しており、再開に向けては多くの人数が一堂に会することや、グループワーク形式で実施することなど感染拡大防止の観点からの課題があるが、市民生活に密接なことから、12月中を目途に開催ができるよう準備・検討を進めている。</p> <p>再整備する施設が、市民・地域の皆様にとって身近な学習、活動拠点や地域の防災拠点となるとともに、大野北地区から市内外へ文化を発信する交流拠点となることで、市民が相模原に誇りと愛着を持ち、シビックプライドの醸成にもつながると考えている。</p> <p>施設や設備の老朽化は喫緊の課題であることから、当事業は「相模原市一般公共建築物長寿命化計画」に位置付けられており、今後策定される「（仮称）相模原市行財政構造改革プラン」を踏まえ、実現に向け取組を進めていく。</p> <p style="text-align: right;">（都市建設局）</p> <p>2つ目の「図書館と公民館の望ましい姿」だが、国の中央教育審議会答申では、「図書館、公民館等の社会教育施設には、地域住民を支える身近な学習、活動拠点としての従来の役割に加え、地域活性化・まちづくりの拠点、地域の防災拠点などとしての役割も強く期待されるようになっており、住民参加による課題解決や地域づくりの担い手の育成に向けて、住民の学習と活動を支援する機能を一層強化することが求められるようになっており」と言われており、本市の図書館、公民館においても、地域課題の解決に向けた取組など地域づくりの拠点とするとともに、市民の生涯にわたる学びを支え、豊かな市民文化の創造につなげることにより、多様な世代が集う居場所として新たな交流を生み出す拠点としたいと考えている。</p> <p>また、図書館や公民館は、「誰一人として取り残さない社会の実現」に向けたSDGsの取組の中で、情報と知識へのアクセスや学習環境の提供などの点から、目標達成に資する重要な拠点の一つであると考えている。</p>

	<p>なお、現在、図書館、公民館をはじめとして、淵野辺駅南口にある複数の施設の集約・複合化を検討しているが、複合化により効率的な施設運営を行うことだけでなく、それぞれが固有の役割を果たすとともに、新たな相乗効果や価値を生み出し、施設全体として一体感や活気が感じられる空間となるよう、今後も広く市民の皆様からの意見を伺いながら、検討を進めてまいりたい。（教育局）</p> <p>3つ目の「鹿沼公園再整備の考え方」だが、白鳥池や桜並木など、多くの市民の皆様が親しまれている鹿沼公園は、整備から40年以上が経過し、施設の老朽化や樹木の老木化が進んでおり、現在、市民検討会において公共施設の配置等、淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて検討が行われているが、鹿沼公園については、公園の持つさまざまな機能や特徴的景観を残しつつ、今後も広く市民の皆様からの意見を伺いながら、公園の活性化や魅力向上につながる再整備を検討したい。（環境経済局）</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

懇談内容	
地区の発言	<p>自治会の会議では、人数を減らして、回数を増やすなど工夫をしている。年内には市民検討会を再開することなので、ぜひお願いしたい。市民検討会の委員の任期を1年で区切ってきたが、現委員の任期はどうなるのか。自治会も必死になって開催方法を考えて会議をやっている。いつまで待てばいいのか。</p>
市の発言	<p>感染症を踏まえ、様々な工夫をしながら開催していきたい。委員の任期については、議論の途中で終わることのないようにしたいと考えており、コロナにより市民検討会が開催できなかった期間も踏まえて弾力的に対応していきたい。</p> <p>（都市建設局）</p> <p>淵野辺駅南口周辺公共施設再整備については、市のホームページに特設ページを設けて情報提供してきたが、市民検討会が開催できなかった期間もホームページを活用して市からの情報提供、市民の方からご意見をいただくことなどもすべきだった。この点についてお詫びしたい。</p> <p>この計画が再検討になったのは、パブリックコメントで352人から914件の意見をもって、今の市民検討会が作られた。多くの方の関心があり、地域を良くしたいという思いがある。市のホームページを通じた情報発信については、さらに留意していきたい。市民検討会については、12月を目途に再開したい。</p> <p>（副市長）</p>
地区の発言	<p>私自身、淵野辺駅南口の活性化を望んでおり、淵野辺で生まれ、公共施設とともに育ってきた。幸町児童館の館長をしているが、公民館有料化に伴い児童館では児童の利用がない時間帯は、地域住民が専用利用しているが、増加傾向にある。淵野辺駅南口の再整備により、児童と大人の世代間の交流ができるような拠点になると良い。シビックプライドは上がっていると肌で感じている。施設もガタがきているため、安全を担保して皆が楽しく集える場所であることが大切で、そういった点も加味して再編を進めて欲しい。</p>
地区の発言	<p>（仮称）相模原市行財政構造改革プランについて、策定に向け2月に予定していたオープンハウスは中止となり、策定期間も延期となった。また、先日令和3年度の市政運営の考え方が公表されたが、現在の検討状況はどうなっているのか。</p>

現在、（仮称）相模原市行財政構造改革プランについて抜本的に見直しを行っている。コロナの影響もあり、行革プランの策定期間は、当初の予定より遅れているが、鋭意策定に向けた検討を進めている。策定の時期については、確定的なことはお答えできないが、市議会で説明したスケジュールを目指している。

（市長公室）

平成29年12月に基本計画案を公表したが、あの案がオンリーワンではない。だからこそ市民検討会ができ、知恵を絞っていただいている。全部をまとめれば新しい施設ができるということにこだわらず、自由な発想で検討を進めて欲しいと思っている。それがより多くの人との協議の中で生み出されるという、SDGsのゴール「17. パートナースhipで目標を達成しよう」の考え方である。（副市長）

他市の首長からは、就任1年目で行革プランに着手するのは厳しいのではないかと言われたが、先送りするわけにはいかない問題であり、逃げずに今できることから実行して、早く財政の健全化をしたい。相模原には小田急多摩線延伸、金原地区、橋本駅周辺の再開発、相模総合補給廠返還地、淵野辺駅南口、麻溝台・新磯野地区、鶴野森地区の土地区画整理事業など、様々な大規模事業案件があるが、これまで財政の裏付けがない中で、これもやります、あれもやりますと言ってきたことで、何一つ進んでいない状況。行財政構造改革の中で、やるべき大規模事業、やめなければならない大規模事業をしっかりと分けていく。例えば28の道路事業については、これまであちこち少しずつ用地買収を行うことで進めている感を出してきたが、このままでは道路は完成に至らないということになる。選択と集中で、通学路など必要な道路は優先的に進めていく。

市の発言

小田急多摩線延伸については、市長就任時に早期に国に確認をしたが、市側のまちづくりの計画がイメージはできていても、具体的なことが何一つ決まっていなかった。市民に誤解を与えるので、相模原駅に掲出していたイメージ図を取り払ったため、それで事業が止まったと言われるが、前に進めるために色々なことに着手している。

夢は語るべきだが、夢ばかりではできるものもできないので、現実論も話して行きたい。行財政構造改革も、長寿命化とか外郭団体の改革とかあらゆるものに着手していかないといけないと思っており、12月には行財政構造改革プラン（案）を公表し、来年3月には令和9年度までの計画として策定したい。

淵野辺駅の南北一体のまちづくりが重要で南口の古い公共施設の再編、老朽化の問題は喫緊の課題である。駅前にこんなに素晴らしい公園があるなんて、最高のまちだと思う。次の世代につなげていくのに、公共施設の再編はしていかないといけないし、東日本大震災の際に図書館（地下書架）がだいぶ破損したと伺っている。鹿沼公園を生かした再編・再整備は大事だと考えている。

平成31年3月に市民検討会が発足し、期限を設けずに議論をしていこうということになった。先ほど「いつまでやるのか」といった意見もあったが、ご指摘の通りで、ある程度の目安を決めなければならないと思っている。森副市長の下で都市建設局をはじめとする職員が、鋭意市民検討会をやっているところで、今後も対話をしながら、絵をしっかりと示して、また、PPP・PFIといった民間活力も視野に入れながらやっていきたい。

	<p>先日小山地区まちづくりを考える懇談会の際、役員の方から10万人の署名が集まればスタジアムは作ってくれるのかと聞かれたが、そうではなく、市はスタジアム建設のお金は出せないし、スタジアムが必要だという市民の熟度も高まっていると思っていない。淵野辺駅南口のまちづくりには期待しており、楽しみである。ただ、財政的な裏付けがない中で検討が進んできていることは課題だと思っている。(市長)</p>
<p>地区の発言</p>	<p>商店街も財政的に厳しい中で、クラウドファンディングにより100名超の方々から99万円の資金を集めることができた。出資してくれた人の3分の1は以前、淵野辺に住んでいたことがある市外在住の方、麻布大や桜美林大の卒業生で、全国に淵野辺のファンがいると感じた。相模原市はふるさと納税の返礼品でキーボードの人気の高いと伺ったので、我々も一生懸命納税するが、それだけではなく、外部からの支援を集めてみんなで造った公共施設とすることなど、色々と制約はあると思うが、幅広く考えて欲しい。</p>
<p>市の発言</p>	<p>今の話の中にもヒントがあり、知恵の出し方として、100人いれば100通りのアイデアがある。話し合いというのは、加速していくと案外良い形が生み出されることがあり、市民検討会をどうやって進行していくかという市側のプランニング、市民検討委員との話し合いが重要。財政的なことなどあまり悲観せず、また、楽観視しすぎることなく、考える必要がある。</p> <p>これまでの9回の検討会の中で進められていたのは、コロナの影響が何もない中での話し合いだった。その中でいずれは結論を出すべきだという話は市の中でもしているが、市民検討委員の皆さんにさらに知恵を出していただきたいのは、コロナ後のいわゆるニューノーマル、新しい生活様式に即した施設の在り方についても併せて考えて欲しい。コロナの影響で都市部における公園の価値は高まっており、オープンスペースが市街地にあることについての価値の再発見が、世界的にも認められている。施設利用の仕方も変化しており、どういう施設が必要なのか、改めて考えていただきたい。検討会の中では、ポストコロナの新しい生活様式に応じた施設の在り方、施設の配置の考え方などについてお考えいただくことになる。来年度のまちづくり懇談会のテーマとしては、今よりも1歩進んだ形で臨めるようにしたい。(副市長)</p> <p>緑区でも相模原協同病院の関係でクラウドファンディングを市民の方自らが行っており、シビックプライドは、市民自らがまちづくりに参画することが狙いである。ふるさと納税に関しては、東プレのキーボードがとても人気で、好評いただいている。現在、藤野で行われている日比谷花壇のグランピング型宿泊施設が人気なため、ふるさと納税の返礼品とできないか交渉している。市税の徴収率が悪いので改善したい。</p> <p>色々な形で市の魅力づくりをしていきたいと思っており、実際に市民との対話の中で生まれたアイデアがある。昨年青葉1丁目の夏祭りで、横浜ベイスターズの試合がサーティーフォー球場で行われなくなったという話をいただいた。すぐにベイスターズと調整したところ、2軍なら来れるかもしれないということになり、来年の実現に向けて調整している。市民の皆様との対話から色々な知恵を授かっており、淵野辺駅南口周辺のまちづくりに関しても、対話により色々な知恵をいただきたいと思っている。</p>

	<p>市職員に足りないと思っているのは、まじめで間違ったことはしないのだが、チャレンジ力が足りない。こうした中、脱ハンコの取組において庁内公募をしたところ、若手職員が手をあげ、現在検討を進めている。やる気がある市職員もたくさんいることが分かり、市民の皆さんと一緒にやればいろいろなことができるという自信が湧いてきた。</p> <p>地域の声を日頃から聞いているまちづくりセンター所長の意見も大事だと考えている。庁内分権も進めており、区役所機能も更に強化していきたい。(市長)</p>
地区の発言	<p>今後の在り方としては、早急に、なるべくはやく再整備を進めて欲しい。</p>
市の発言	<p>持続可能な形で財源を確保したいと考えており、セーフティーネットであるサービスは守っていくが、扶助費や民生費にも切り込んでいきたい。(市長)</p>
地区の発言	<p>淵野辺駅南口の開発に当たっては、政令指定都市だということを念頭に置いて進めて欲しい。</p>
市の発言	<p>淵野辺には誇れるものがたくさんあり、淵野辺の価値を一番ご存じなのは、地域にお住いの皆さんである。児童交通公園の場所に複合施設を建てようと捉えられ大きな反対の声が上がったのは、横浜線沿線の多くの子育て世代が電車や車を使って鹿沼公園に来ていたため。市民検討会では幅広い年代の方が集まり、政令指定都市にふさわしい施設はどんな施設なのか、色々な夢を膨らませながら、もちろん現実論も併せて考えながら進めていければと思う。(副市長)</p>

<p>地区の発言</p>	<p>市民検討会の持ち方は、非常に疑問があり、確かにコロナの影響はあるが、主催者としてこんな対策をしていると明らかにして開催すれば、市民の理解が得られるのではないかと。要は主催者の判断である。中止、延期は簡単だが、それでは進まないため、出席人数を絞る、時間帯を分けて開催するなど工夫して開催すべきで、それでも心配で参加したくないという人がいれば、事後に結果報告など書面で意見をもらえばいいし、市民検討会は再開すべきと考える。</p> <p>シビックプライドの話もあったが、「淵野辺に住んでいる」と胸を張って言いたい。「鹿沼公園がある」と紹介した人が実際に来た時に、今の状況では素晴らしい公園だとは思わないのではないかと。児童交通公園は交通公園と言えるような設備ではなく、私は横浜に住んでいる人に「鹿沼公園に児童交通公園があるので来てください」とは言えない。子どもたちに交通ルールを教えるために、グリーンベルトやブルーレーン（自転車走行帯）などを整備するべきで、設置されている信号機は何十年も前のもので、この設備で「交通公園」と言えるのか。横浜線に乗って遠くから来るというが、そこまで来る人数はいないと思う。</p> <p>交通公園に来た後、白鳥池を見るとわかると思うが、池の底は泥だらけで、魚が水面から半分出ている。特に橋の下がひどく、将来的な構想があるのであれば、池の中の泥をかき出してほしい。</p> <p>築山は、川崎市の水道ができたときに沼が埋められ、鹿沼公園があるから、あの場所に池ができた。この辺りは平地なので、あの築山を我々は「丘」だと思っており、公園を見渡すことができる素晴らしい丘で大事なものである。鹿沼公園自体、本当は素晴らしい公園だと思っている。</p> <p>ただし、芝生の野球場があるところは、素晴らしいとは思っていない。</p> <p>一つひとつスピードを上げて検討進めて欲しい。将来の構想など、市としてはこう考えているということをはっきりと明らかにして欲しい。ただ、期限を設けず、みんなでも話し合ってもなかなか決まらないので、ある程度期限を設けなければ決まらないと思う。自由な発想をすることも結構だが、千個、二千個と意見は出てきた場合、それらの意見を集約し結論を出すことができるのかは疑問を感じる。ある程度期限を設けて検討を進めて欲しい。まちづくりを考える懇談会を同じテーマで2年続けて開催したため、来年度は違うテーマで懇談をしたい。</p>
--------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>市長の感想等</p>	<p>本日は貴重なご意見をいただいた。テレビ東京の番組で「池の水ぜんぶ抜く」への出演の提案もしたが、1千万円以上市が負担をしなければならないため、クラウドファンディングでできないのかという提案もした。</p> <p>市主催のイベントは12月31日まで中止・延期としているが、市民検討会再開の必要性は痛感しているので、コロナ対策に万全の対応をしながら、12月に開催したい。確かに無期限では決まってくれないと思うので、期限を設けてやっていかなければならないと思っている。しっかりやっていきたい。淵野辺駅のある大野北地区には大学もあり、若い力があるため、皆さんと連携しながらやっていきたい。色々な形で皆さんとしっかりと対話をしながら、相模原の舵取りをしていきたい。（市長）</p>
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------